





# アイヌ民族と博覧会
## ―150年の経験―

企画展示

The Ainu and the Expositions
150 years of experience











**2026.10.6㊋ ―11.29㊐**

**国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B 開館時間＝9:30－16:30**（入館は16:00まで）

**休館日＝月曜日**（休日にあたる場合は開館し、翌平日休館）

**入館料＝一般1,500円 大学生800円**

※高校生以下・18歳未満の方は入館無料 ※総合展示・くらしの植物苑もご覧いただけます。

【主催】大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館、公益財団法人 アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 国立アイヌ民族博物館 【特別協力】公益社団法人北海道アイヌ協会 【協力】尼崎市立歴史博物館、板橋区立郷土資料館、大阪府、株式会社乃村工藝社、川村カ子トアイヌ記念館、京都府立京都学・歴彩館、公益財団法人大阪日本民芸館、公益財団法人石水博物館、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、国立公文書館、札幌市、市立函館博物館、東京国立博物館、東京大学総合研究博物館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、日本民藝館、函館市中央図書館、北海道エアポート株式会社、北海道大学アイヌ・先住民研究センター、北海道大学附属図書館、北海道伊達市教育委員会、北海道博物館、幕別町教育委員会、松浦武四郎記念館、松本市立博物館、立教小学校、立教大学立教学院史資料センター、Library of Congress

左上から:「近世蝦夷人物誌」二編巻之中 松浦武四郎著 1858年 重要文化財 松浦武四郎記念館蔵(部分)/「古今珍物集覧」一曜斎国輝画 1872年 国立歴史民俗博物館蔵 / 第五回内国勧業博覧会正門写真 1903年 国立アイヌ民族博物館蔵 / 学術人類館集合写真 1903年 国立アイヌ民族博物館蔵 / 山丹錦 立教小学校蔵(国立アイヌ民族博物館寄託)/大阪万博に向かう途中の空港にて 1970年 個人蔵 /大阪・関西万博で披露されたアイヌ舞踊 2025年 公益財団法人アイヌ民族文化財団蔵 /大阪・関西万博でのアイヌ舞踊公演時の会場全体の様子 2025年 公益財団法人アイヌ民族文化財団蔵

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117
問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)
https://www.rekihaku.ac.jp

館内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開館日・開館時間等の変更、各種催し物を延期または中止する場合があります。最新の情報は館のホームページ及びSNSでご確認ください。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

The Ainu and the Expositions
150 years of experience

# アイヌ民族と博覧会
企画展示
## —150年の経験—

1872(明治5)年の湯島聖堂博覧会にアイヌ資料が初めて出品されてから、2025(令和7)年の大阪・関西万博に至るまで、およそ150年にわたり、アイヌ民族は博覧会と関わってきました。博覧会は、知識や文化を広める一方、人や文化を比較し、序列化する場でもあり、アイヌ民族は、差別や偏見、優越感を含むまなざしのもとで展示されることがありました。そうした展示が行われた時代においても、その関わりは一方向的な「展示される対象」という図式だけでは捉えきれず、時代を経るごとに博覧会のあり方や参加のかたちも変化していきました。本展では、工芸品、写真、絵はがき、書簡、衣装、映像、博覧会に関わったひとりひとりの「声」から、個々の経験や思い、交錯する関係性に目を向け、個人にとって博覧会がいかなる場であったのかを考えます。

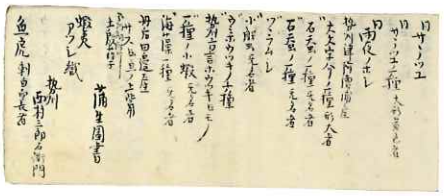
## 展示構成

### 第1章 アイヌ工芸品展示の草創期から博覧会へ
和人社会で異域の産物として関心を集めたアイヌ工芸品、明治初期の博覧会での北海道「開拓」と産業振興の文脈への再編。

### 第2章 アイヌ民族の出場
日本の植民地拡大を背景として、人の生活そのものを観覧させる「人間展示」の対象となったアイヌ民族。

### 第3章 アイヌ文化を見せていく時代
戦後社会のなかで、変化する博覧会のあり方、主体化するアイヌ民族の博覧会への関わり、そして表現するアイヌ文化。

### 第4章 アイヌ民族と博覧会のゆくえ
現代のアイヌ文化を表現する場を通して紡がれる人と人のつながり、連鎖する思い、文化の継承の回復。


山本読書室物産会目録「天保四年癸巳物産会品目」
1833年 中井立美蔵（京都府立京都学・歴彩館寄託）


明治十年内国勧業博覧会列品写真帖
1877年 尼崎市立歴史博物館蔵

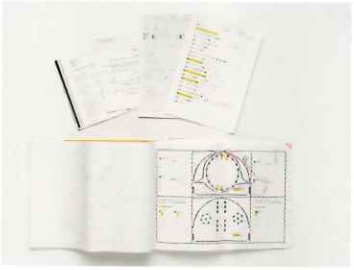

拓殖博覧会での貝澤ウエサナシ 1912年
国立アイヌ民族博物館蔵


盆 貝澤ウトレントク作 個人蔵


北海道大博覧会で撮影された写真
1958年 個人蔵


ミンタラ 川村則子作 1988年
公益社団法人北海道アイヌ協会蔵


大阪・関西万博のアイヌ舞踊公演時に
加藤峻也が着用した衣服 個人蔵


大阪・関西万博のアイヌ舞踊公演のために
作成・使用された資料群 2025年 個人蔵

## 関連する催し物

### ■歴博映像フォーラム20
10月24日(土) 13:00～16:30 本館講堂(要事前申込)
万博におけるアイヌ舞踊とその表象
EXPO2025 大阪・関西万博で披露されたアイヌ舞踊公演の記録映像の上映とトークセッション
内田順子（国立歴史民俗博物館）、川上さやか（国立アイヌ民族博物館）他

### ■第472回 歴博講演会
11月14日（土） 13:00～15:00 本館講堂
企画展示「アイヌ民族と博覧会 —150年の経験—」を語る
立石信一（国立アイヌ民族博物館）・関口由彦（国立アイヌ民族博物館）

### ■ギャラリートーク
○10月10日（土） 11:00～ ○10月24日（土） 11:00～
○10月31日（土） 11:00～ ○11月14日（土） 11:00～
○11月29日（日） 11:00～ ○11月29日（日） 13:30～

## 交通ご案内

[京成電鉄利用の場合]
京成上野駅から京成佐倉駅（京成本線経由特急利用の場合約55分)下車、徒歩約15分またはバス約5分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

[JR東日本利用の場合]
東京駅から総武本線佐倉駅（快速利用の場合約60分）下車、バス約15分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

[自動車利用の場合]
東関東自動車道 四街道ICまた佐倉ICから約15分、国道296号沿い（駐車場あり）





大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History